

日本コミュニティ心理学会
第26回大会 プログラム

コミュニティにおける知と経験の伝承

会期 2023年12月16日(土)・17日(日)

会場 香川大学幸町キャンパス

大会長 谷渕 真也

後援 香川大学

ごあいさつ

日本コミュニティ心理学会第26回大会

大会長 谷渕 真也

香川大学医学部臨床心理学科

この度、令和5年12月16日（土）と17日（日）の2日間で、日本コミュニティ心理学会第26回大会を開催いたします。4年ぶりの対面開催で、香川大学幸町キャンパスを会場としております。地方開催にもかかわらず多数の皆様に参加登録をしていただきました。大会運営委員会をはじめ関係者の皆様のご理解とご支援のもと大会を無事開催できますことに、心より感謝申し上げます。

今大会のテーマは「コミュニティにおける知と経験の伝承」です。魅力的なコミュニティがすでに持っている特徴やそれを維持するタネや仕掛けを共有することから、これからのコミュニティ支援において我々実践家・研究者に何ができるのかを学び考えていきたいと思っております。運営委員会では、うまくいっているコミュニティや人を惹きつけるコミュニティの事例を学ぶ機会として、基調講演と大会企画シンポジウムの2つのプログラムを準備しました。兒玉憲一先生による基調講演では、HIV医療分野の心理職の活動を中心に、専門職のコミュニティづくりについてお話しいただきます。大会企画シンポジウムでは、竹森元彦先生、大賀睦夫先生、須藤順先生から四国遍路を題材に日本文化に根ざした地域コミュニティの魅力について話題提供していただきます。

参加者の皆様にも、これまでの体験やそこで得た知恵、各自の関わるコミュニティへの思いを存分に語っていただきたいと思っております。さまざまな地域の老若男女の実践家・研究者の間で活発な知と経験の交流が起こったならば、これに勝る喜びはありません。今大会がさまざまな立場からの情報発信や活発な議論の場となることで、わが国におけるコミュニティ心理学の発展に寄与できればと願っております。

最後に、本大会の開催に際し、多くの皆様にご支援ご協力を賜りましたことに改めて感謝申し上げます。ご参加いただく皆様にとって良い刺激とネットワークを得られる大会となることを願って、開催のごあいさつといたします。

大会スケジュール

12月15日（金） 15:00～17:00 若手の集い

1日目 2023年12月16日（土） 9:00～20:00

9:00	受付開始 (総合受付 8号館1階 812教室)	
10:00	研究発表(ポスター) A (8号館2階 821教室) 10:00～12:00	研究発表(口頭) A (8号館2階 822教室) 10:00～12:00
12:00		
12:30	総会 (6号館1階 611教室) 12:30～13:00	
13:00	会員企画ラウンドテーブル (8号館2階 822教室) 13:00～15:00	
15:00		
15:30	基調講演 (6号館1階 611教室) 15:30～17:30	
17:30		
18:00	懇親会 (キャンパス内 ダイニング 空海) 18:00～20:00	

2日目 2023年12月17日（日） 9:00～16:00

9:00	研究発表(ポスター) B (8号館2階 821教室) 9:00～11:00	研究発表(口頭) B (8号館2階 822教室) 9:00～11:00
11:00	会員企画シンポジウム 1 (6号館1階 611教室) 11:00～13:00	会員企画シンポジウム 2 (6号館2階 621教室) 11:00～13:00
13:00		
14:00	大会運営委員会企画シンポジウム (6号館1階 611教室) 14:00～16:00	

日本コミュニティ心理学会第26回大会 プログラム

基調講演

12月16日(土) 15:30 ~ 17:30

6号館1階 611教室

コミュニティ支援のバトンをつなぐ
— HIVカウンセリング35年間を振り返って —

講師	兒玉 憲一	(広島大学名誉教授)
司会	谷 渕 真也	(香川大学)

日本コミュニティ心理学会第26回大会運営委員会 企画シンポジウム

12月17日(日) 14:00 ~ 16:00

6号館1階 611教室

現代のお遍路を読み解く
— コミュニティデザインからみた四国遍路のもつ持続可能性のシステムについて —

話題提供	竹 森 元 彦	(香川大学)
	大 賀 睦 夫	(香川大学名誉教授)
	須 藤 順	(高知大学地域協働学部)
指定討論	谷 渕 真 也	(香川大学)
司会	三 好 真 人	(常葉大学)

会員企画ラウンドテーブル

12月16日(土) 13:00 ~ 15:00

8号館2階 822教室

コミュニティ心理学におけるアジア・日本の視点の再考
—第1回アジア・国際コミュニティ心理学セミナーの経験から—

話題提供	奥山 裕介	(防衛医科大学校医学教育部医学科)
	笹尾 敏明	(国際基督教大学)
	板東 充彦	(跡見学園女子大学心理学部)
	柳井 静香	(国際基督教大学大学院)
企画・司会	桑山 碧実	(大阪大学大学院)

会員企画シンポジウム1

12月17日(日) 11:00 ~ 13:00

6号館1階 611教室

チーム学校の実現に向けた4職種合同多職種連携プログラム
—関連職種の養成課程からみた学びとプログラムについて—

話題提供	門原 眞佐子	(就実大学)
	相楽 直子	(宮城大学)
	石原 みちる	(就実大学)
	平野 貴大	(沖縄大学)
指定討論	森田 英嗣	(大阪教育大学)
企画・司会	荊木 まき子	(就実短期大学)

会員企画シンポジウム2

12月17日(日) 11:00 ~ 13:00

6号館2階 621教室

居場所を探す女性への支援について

話題提供	引地 綾	(大阪府立女性自立支援センター)
	信田 佳余子	(大阪府立女性自立支援センター)
	高瀬 亮子	(大阪府立女性自立支援センター)
	北川 眞記子	(大阪府立女性自立支援センター)
企画・司会	林 久美子	(大阪府立女性自立支援センター)

研究発表（口頭）

12月16日（土）10:00～12:00

8号館2階 822教室

座長 大久保 智生（香川大学）

0A-1 10:00～10:30

ニュージーランドの都市での市民参加による生態系復元の取り組み

石盛 真徳（追手門学院大学）

0A-2 10:30～11:00

チーム学校の実現に向けた4職種合同多職種連携教育プログラム試行について

—社会福祉士養成課程学生の学び—

平野 貴大（沖縄大学）

荊木 まき子（就実短期大学）

相楽 直子（宮城大学）

森田 英嗣（大阪教育大学）

門原 眞佐子（就実大学）

石原 みちる（就実大学）

0A-3 11:00～11:30

チーム学校の実現に向けた4職種合同多職種連携教育プログラム試行について

—養護教諭養成課程学生の学び—

相楽 直子（宮城大学）

荊木 まき子（就実短期大学）

平野 貴大（沖縄大学）

森田 英嗣（大阪教育大学）

門原 眞佐子（就実大学）

石原 みちる（就実大学）

0A-4 11:30 ~ 12:00

チーム学校の実現に向けた4職種合同多職種連携教育プログラム試行について

—教員・心理職養成課程学生の学び—

荊木 まき子（就実短期大学）

相楽 直子（宮城大学）

平野 貴大（沖縄大学）

森田 英嗣（大阪教育大学）

門原 眞佐子（就実大学）

石原 みちる（就実大学）

研究発表（口頭）

12月17日（日） 9:00～11:00

8号館2階 822教室

座長 竹森 元彦（香川大学）

OB-1 9:00～9:30

日本の大学のダイバーシティ宣言の特徴についての考察

大西 晶子（東京大学 相談支援研究開発センター）

OB-2 9:30～10:00

母子生活支援施設ならではの支援の特徴に関する検討

～児童養護施設など入所型児童福祉施設の支援構造との比較～

池田 正人（社会福祉法人三誓会 母子生活支援施設サン・ロータス皆実）

OB-3 10:00～10:30

災害時の自助・共助・公助の相互関係に関する分析

— 太平洋沿岸地域における個別避難計画の作成を例に —

杉山 高志（九州大学）

大本 航（九州大学）

OB-4 10:30～11:00

中学生を対象とした万引き防止教育プログラムの開発（1）

— 家族・友人関係が自己統制を介して万引きへの意識に及ぼす影響 —

大久保 智生（香川大学）

金澤 潤一郎（北海道医療大学）

久保田 真功（関西学院大学）

徳岡 大（人間環境大学）

研究発表（ポスター）

12月16日（土）10:00～12:00

8号館2階 821教室

PA-1

日本企業における日本留学経験の活用と労働価値観—中国人元留学生社員の場合—
黄 美蘭（帝京平成大学）

PA-2

外国人生徒の進路決定の体験プロセスと教会コミュニティの心理的機能の検討
高嶋 喜満人（しおかぜ病院）
谷渕 真也（香川大学）

PA-3

ゲイ男性に対し大学生はどのような態度を有しているのか
—「本音」と「建前」の両側面から—
松高 由佳（県立広島大学）
中野 大進（比治山大学大学院附属心理相談センター）

PA-4

高齢者における居場所の構成要素に関する質的検討
—物理・制度的要素、社会的要素、悪い側面に着目して—
菊地 浩旦（上智大学大学院）
久田 満（上智大学）

PA-5

男性高齢者の参加を目指したボードゲーム交流会の現状と課題
山田 文（上智大学）
菊地 浩旦（上智大学大学院）
伊藤 慎悟（埼玉学園大学）
久田 満（上智大学）

PA-6

地域コミュニティの危機事態における共同体組織としての子ども食堂の適応過程に関する質的検討——利用者スタッフの体験過程の比較・検討から——

吉田 光成（専修大学大学院）

加藤 慧（東京外国語大学大学院 / 鹿児島大学）

塚本 理（元練馬区学校教育支援センター）

佐藤 良香（川上内科クリニック）

箕口 雅博（立教大学）

PA-7

患児が食物アレルギーと共に生きていく体験

岡崎 多夢（鳥取大学大学院）

谷渕 真也（香川大学）

PA-8

日本における同性愛者・両性愛者のポジティブな経験に関する日誌法を用いた探索的検討

高橋 周平（一般社団法人ハレルワ）

PA-9

自己開示と援助要請の両立機序の観点による相談行動の検討
——相談相手との関係性についての意味づけの観点から——

小笠原 真白（専修大学大学院）

下斗米 淳（専修大学）

PA-10

青年期の所属集団や関係性に関する探索的検討

木谷 智子（比治山大学）

PA-11

夫婦間対話を促進する「夫婦研究」という実践の試み：研究者夫婦の発話の分析

北村 篤司（昭和音楽大学）

PA-12

コロナ禍の大学生が得ている友人からのサポートの効果検証 (2)

—社会的交流を踏まえた時系列による調整媒介分析—

上田 仁 (愛知県庁)

松浦 均 (星槎大学)

PA-13

Good Behaviorチケットを用いた学校コミュニティへのポジティブ行動支援による教師への影響

枝廣 和憲 (立命館大学大学院／福山大学)

PA-14

社会関係資本が大学生の人生満足度に与える効果

—コミュニティ感覚を起点とした検討—

小林 俊介 (青山学院大学)

繁樹 江里 (青山学院大学)

PA-15

保育所における常勤心理職の働き方の検討

—新規採用から多職種連携への展開事例—

藤原 朝洋 (美樹和会)

吉田 かける (美樹和会)

尾崎 将充 (美樹和会)

PA-16

「世界青年の船」事業の船上での異文化体験過程に関する質的検討 (その2)

村川 幸穂 (香川大学)

竹森 元彦 (香川大学)

谷渕 真也 (香川大学)

研究発表（ポスター）

12月 17日（日） 9：00 ～ 11：00

8号館2階 821教室

PB-1

女子大学生におけるキャリア形成の過程 理想・現実ライフコースに着目して

石津 和子（金城学院大学）

鶴田 美保子（金城学院大学）

PB-2

COVID-19に罹患した職員の精神状態の変化に関する研究

—陽性患者受け入れ病院に勤務する職員が罹患したときのサポート要因—

亀田 優衣（社会医療法人社団正志会 花と森の東京病院）

五十嵐 治（社会医療法人社団正志会 花と森の東京病院）

PB-3

外国人留学生がもたらす大学コミュニティへのインパクト

—専門教員へのインタビュー調査から—

岡村 佳代（聖学院大学）

前川 孝子（三重大学）

阿久澤 弘陽（京都大学）

黒崎 佐仁子（聖学院大学）

PB-4

いじめや児童虐待の現場に求められるノンテクニカルスキル

三宅 善子（一般社団法人こころの研究所レタス）

高木 伸也（一般社団法人こころの研究所レタス・株式会社AiCAN）

PB-5

大学生の不公平・不平等経験に対するエンパワーメントの検討

池田 琴恵（至学館大学）

PB-6

留学生のサポート源とサポートの種類および関連要因の検討

大野 あかね（高田西城病院）

五十嵐 透子（上越教育大学）

PB-7

ソーシャルワーカー向けバーンアウト防止研修の効果検証

嘉陽 彩乃（お茶の水女子大学）

合澤 典子（お茶の水女子大学）

木村 ゆかり（東京大学）

大森 美香（お茶の水女子大学・東北大学）

PB-8

子どもと大人の“バディプログラム”の特徴と子育て支援における活用

—大人バディへのインタビューを通じて—

宮入 葵（跡見学園女子大学大学院）

PB-9

環境葛藤における道徳的排斥が心的機能の帰属と正当性承認に及ぼす影響

——道徳基盤の機能に着目して——

坂本 剛（中部大学）

野波 寛（関西学院大学）

田代 豊（名桜大学）

青木 俊明（東北大学）

大友 章司（関東学院大学）

大場 健太郎（東北大学）

PB-10

LGBTQ+当事者に対して大学生が抱く関心の内容

—当事者による講演に向けた事前質問の分析から—

池田 満（南山大学）

平田 金重

勝山 こうへい

PB-11

向社会的行動の遂行は日本人の感謝や負債感と関連するか？—性差を仮定した検討

松下 健（北陸学院大学）

PB-12

オフラインキャンプにおける学生メンターに対するサポートの分析

齋藤 光（埼玉県庁）

海野 順（三光病院）

谷渕 真也（香川大学）

PB-13

職場における孤立・孤独体験の質的検討：離職者を対象として

高橋 美保（東京大学）

猪股 和佳奈（東京大学）

山田 詢介（東京大学）

PB-14

大学生の主観的幸福感の向上を目指すプログラム作成—学校適応感の視点から—

福永 かなえ（別府大学大学院）

川崎 隆（別府大学大学院）

PB-15

子どもの視点からまちのあり方を考える手法

：子どもの自立的移動自由性の向上を目指して

吉永 真理（昭和薬科大学）

寺内 義典（国土舘大学）

大西 宏治（富山大学）